

## あいかわ自然観察会 2月



- ◆事業目的：①ファミリーコミュニケーション運動にあわせて、家族や子どもたちのふれあいをはかる。  
②村の自然とその四季による変化を知る。  
③生き物のつながりを知り、身近な自然に目を向けるきっかけとする。

◆参加者数：15名

◆2月としては暖かい気候の中、野鳥をメインに観察しました。マツの実を食べるヤマガラや集団で飛び去るイカルなど、鳥の行動までじっくりと観察することができました。マツの細い枝にぶら下がっても枝がしならないところから、ヤマガラの重さを当てるクイズを実施。みなさんは思っていたよりも軽かったようで、「へー！」と感嘆の声が漏れます。子どもがイノシシの掘り返した食事の痕をいち早く見つけて解説してくれる場面もありました。その他にもイノシシとシカの糞、シカが角を研いだ痕も見つかります。子どもがカニムシという小さな生き物を発見したことで、参加者の興味を一挙に集めました。発見したものについて、「なんでだろう？」「不思議だね。」と参加者同士が話し合いながら、生き物と触れ合うところがこの観察会の醍醐味でもあります。生き物や人とのふれあいの中で、多くのことを学び、興味をもていただければ幸いです。

(文責：石川)

担当スタッフ：石川、吉田